

一九九三年一月二十一日発行

発毎日人發行西障害者定期卷刊行二行二物四協三会号

一大九八市四城年東八月東二中〇兵日第二種郵便十認三可

KSKP

No.4

障害者情報クラブニュース

『朝日福祉助成金』
を受賞!

4ヶ月の御無沙汰でした。しかし、この4ヶ月の間に私たちのまわりでは、宝塚での近畿ろうあ者大会をはじめ、「国連障害者の10年宝塚フォーラム」関連行事として、「連続セミナー」、「第3回車いすウォークラリー&第9回ふれあいコンサート」、締めくくりの「フォーラム in 宝塚」などがあり、行事などが目白押しの時期でした。そんな慌ただしい中で、私たちは「朝日福祉助成金」受賞の朗報を手にしたのです。

この『障害者情報クラブニュース』もこの号で創刊第4号になりますが、今までの版下作りは会員の手で行っていたのに対して、印刷については活動をご支援いただいている方々に助けていただいていました。このような依存した状況から抜けだし、『情報クラブ』の名に恥じないだけの情報の質、量、速さを必要な方々に提供していくために、今回いただいた助成金は、印刷

機と紙折機の購入資金に当てさせていただきます。

今回の受賞は、その金額よりも、私たちの活動が社会的に認知されたことの意味を大事に考えていきたいと思います。

(事務局長 坂上 正司)



目次

「朝日福祉助成金」を受賞!	(1)
第3回車いすウォークラリー	(2)
俺のウォークラリー、ひとりごと	(4)
ウォークラリーに参加して	(5)
住宅情報	(5)
ご存じですか? 税の減免制度	(6)
阪急電鉄との意見交換会	(8)
福祉の街づくり条例	(9)
近畿ろうあ者大会にいってきました	(9)
ひとくちニュース	(9)
フォーラム in 宝塚	(10)
公ちゃん、頑張れ!	(11)
標語募集	(12)
編集後記	(12)

第3回 車いすウォークラリー ～ 正司宝塚市長も参加～

1992年11月3日(火・文化の日)、既に年中行事になりつつある「車いすウォークラリー」が開かれました。今回のコースは、宝塚市役所を起点に伊和志津神社、逆瀬川、アピア、阪急逆瀬川駅、女性センター、宝塚神社、平林寺、保健所、消防署などをまわって市役所前河川敷に向かう2～6kmの3コースで、44グループ約200人が参加しました。特に、今年は一連の「なくそう! 心の段差 国連障害者の10年宝塚フォーラム」参加行事として多方面のご支援をいただきました。

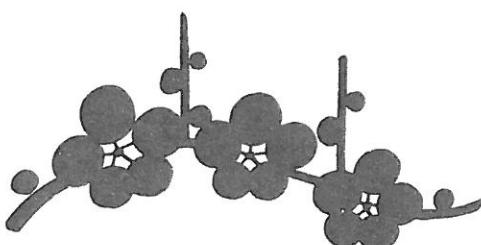
午前9時、宝塚市役所グランドフロア前ピロティに集合。開会式、オリエンテーションのあと、9時20分～9時45分にかけて続々とスタート。全コース共通の第1チェックポイント井上代表宅前では、クリアの条件が箱の中の同じ色のボールを引き当てるというものだったのですが、なかなか色が合わずに戸惑い行列ができてしまいました。

お寺や神社、名所では、1回目からご協力いただいている宝塚文化財ガイドソサイエティーや市職員の方の説明。アピアではマスタード(スーパー・マーケット)のご協力で貢物。阪急逆瀬川駅では、ボランティアで参加された阪急電鉄職員の方の説明。消防署では職員の方によるトピックスのお話。その他に、缶ジュースやお菓子を配りました。

正司市長も10時頃に来られて、コースの約半分を車いすに乗ってまわられ、段差、歩道の傾きや滑り具合、上り下りのしんどさ、目の高さの違いを体験されました。

ゴールは、11時15分～12時45分。ゴールのあとはお楽しみのバーベキュー＆バザー。

午後1時に閉会式をして、1時30分からは市役所市民ホールで行われている「第9回ふれあいコンサート」へ移動しました。参加された皆さん、楽しかったですか。スタッフの皆さん、ありがとうございました。



概要

主 催：障害者情報クラブ、宝塚市肢体障害者協会
 後 援：国連障害者の10年宝塚フォーラム実行委員会
 (宝塚市・宝塚市社会福祉協議会、宝塚市心身障害対策市民懇談会、
 宝塚市心身障害者(児)連絡協議会、宝塚市心身障害情報クラブ)
 清荒神清澄寺、宝塚心身障害対策市民懇談会、日本チバガイギー株式会社、自治労宝塚市職員労働組合、
 自治労宝塚市善意銀行
 協 力：宝塚文化財ガイドド・ソサイエティー、株式会社マスグ、いすみ会、宝塚市ガール・スクール・小林聖心女子
 学院、宝塚市消防本部、シルバーボランティア、二期会、手話サークル ほほえみ、自治労宝塚市
 職員労働組合女性部、宝塚外出介助の会、手話サークルさわやか、宝塚サマリー、西宮ワイズメンズクラブ、
 西宮YMCA、宝塚ワイズメンズクラブ、逆瀬川都市開発株式会社(アピア1)、関西都市開発株式会社
 (アピア3)、伊和志津神社、兵庫県宝塚保健所、平林寺、宝塚神社、宝塚視力障害者協会、宝塚ろうあ協会、
 宝塚市身体不自由児父母の会、広田陽子(宝塚市議会議員)、宝塚市立良元小学校、宝塚市立高司小学校、
 阪急電鉄逆瀬川駅、宝塚レクリエーション協会
 協 賛：大塚製薬株式会社：POCAL SWEAT STEVIA 300本、CALORIE MATE BLOCK 300箱、CALORIE MATE CALCIUM 320袋
 ばんち株式会社：ばんち揚げ等おかき200袋
 ばんち株式会社：ばんち揚げ等おかき200袋
 宝塚市消防本部：鉛筆等200本余

会計

収入の部	支出の部
会費(500円×282人)	株式会社マスグ
清荒神清澄寺	食材料費、調理器材賃借料及び燃料費等
宝塚心身障害対策市民懇談会	米代金
日本チバガイギー株式会社	保険料(40円×211人)
宝塚市善意銀行	調査費
小林聖心女子学院高等学校	通信費
自治労宝塚市職員労働組合	印刷費・精宣費
自治労宝塚市職員労働組合女性部	会議費
宝塚YMCA	写真ビデオ撮影費用
宝塚＆西宮ワイズメンズクラブ	事務消耗品
バザー売上	残金
一般寄付：カンパ	
収入合計	支出合計
579,257	579,257

残金の使途 1. 印刷機及び紙折機の購入資金不足分に充当

(※ 朝日新聞大阪厚生文化事業団「朝日福祉助成金」より印刷機及び紙折機の購入資金として50万円を頂くことになり(11/18新聞発表)、その不足分に充当。)

2. 次年度事業への繰越

予想を遙かに上回る金銭面でのご支援をいただいた上に、各方面のご協力で支出を押さえることができました。ありがとうございました。

(報告：事務局&宝塚市肢体障害者協会)

昨年開催した第3回車いすウォークラリー（逆瀬川近辺）の参加者の方々からお便りが寄せられていますので、抜粋して皆様にもご紹介いたします。

俺のウォークラリー、ひとりごと……

11月3日、さわやかな秋晴れの下、市役所の駐車場をスタートした。俺はタヌキチーム（6km）の5人で地図を見ながら歩いた。まずは、伊和志津神社を目指した。断っておくが俺は視力障害者だ（いばることではないけどな）。見えている人とは感じが違うけれど俺が書くのだから俺の景色を感じてほしい。

歩道橋から伊子志を通り抜けると、今もあるのか俺には分からぬが火の見やぐらが昔はあった。あるとしたら伊子志会館の隣だそうだ。俺の小さい頃は火事が多くて半鐘が多く鳴らされていた。近くの時は「ガンガンガン」と鳴らし、遠くの時は「ガーンガーン」と鳴らす。それで火元がどの辺かが分かるから大したものだ。若い人はテレビの時代劇でよく見かけると思う。昔、消防署は消防団といって各村でグループを組み無料で活動していた。その火の見やぐらの側を通ったかどうかは知らないけれど……。では、伊和志津神社にもどって、ここは千年以上の歴史があるそうだが、俺が覚えているのは田んぼの中に建っていたときだ。俺の眼には社は写らないが木の緑の香りが懐かしさを感じさせる。今は公民館や幼稚園が建っている。

そもそも逆瀬川は田舎くさい所だった。市役所前市場とすぐ横に東映の映画館（俺は覚えていないが）があって、すぐ後ろは見渡すかぎり田んぼだった。俺が若い頃は逆瀬川の溝の水を飲んでいたもんさ。土地の人は米を洗ったり、茶碗を洗ったりしていたそうだ。

今では信じられんだろうな。ゆずり葉台や逆瀬台なんてなかったから、山の湧き水がそのまま溝に流れていって飲んでも害がなかったことは俺の体を見れば分かってもらえるだろう。眼と頭以外はいたって丈夫だ。

それから女性センターの前を通って宝塚神社に向かった。線路の音を左に聞き、急な坂

を登り少し歩くと右に墓場、左に平林寺。もうすぐ俺にもお呼びが掛かるからこの道は何とも言えない気分だ。そして宝塚神社に着いた。この神社は、昭和40年にすぐ下の素盞鳴（すさの）神社と日吉神社が合併された。日吉神社は昔、保健所のところに建っていた神社だ。俺が小学生の頃、良元小学校から月に2回「武運長久」を祈りに行った。1日と15日に西と呼ばれた日吉神社と東と呼ばれた素盞鳴神社（今は高司にある）に行っていたのをかすかに覚えている。俺は知らなかつたけど、昔は素盞鳴という神社が2つあったんだなぁ。

小林の駅からベアリング（今の市役所）が田んぼの向こうに見えていたのをよく覚えている。小林のすぐ次の駅は鹿塩（かしお）だった。そこには軍需工場があって、駅は栄えていた。今でも跡かたはあるらしい。川西に航空隊（株式会社だと思う）があったせいで宝塚は空襲を受けた。その頃の俺は、トンボや蝶々を追いかけていた。そしてその俺はB29に追いかけていた。よく生きていたものだとしみじみ思う。戦争がなければ宝塚は松林と田んぼに囲まれた静かな田舎だったな。今は、開発開発で賑やかになっていくようだが、眼が見えていた頃の宝塚が俺は好きだ。

昔のことを考えている間に武庫川の河原に着いた。俺たちのグループは2時間の予定だった。バーベキューや焼きソバを食べている時に閉会式。そして俺のグループは一等だった。一昨年の山本、昨年の小浜、今年の逆瀬川、いろんな思いが俺の頭を通過したけれどやっぱり俺のふるさとは宝塚だ。

(視力・比嘉)



ウォークラリーに参加して

去る11月3日に私は、宝塚身体障害者情報クラブ主催「第3回車いすウォークラリー」に今年も去年に引き続き参加させて頂きました。そして今年のコースは去年の小浜周辺と違って、宝塚市役所から出発して…そして逆瀬川周辺まで歩いて…また市役所へ戻るコースでした。それに今年は、去年と比べて最初「はんしん自立の家」からの参加者の人数が多くて…8名でした。でもそれが…、風邪ひきが多かったために…結局5名だけになり、この5名で参加することになったんです。それに去年のコースに比べて確かに少しは距離が長かったように感じました。それは、今年は電動じゃなくて…手動車椅子だったからです。もしこれが去年と引き続き電動だったら…少しばかり違ったかも知れませんでした。でも、電動だけじゃなくて…たまには手動にも乗って誰かに押してもらって…長い距離を歩くのもいいなァ～！と思いました。それに少しばかり迷ってしまいましたけれど…どうにか市役所の河川敷のゴールまで着きました。そして今年も去年に引き続き商品はもらえませんでしたけれど…いい頭の体操ができたと思いました。そしてゴールに着いてから…みんなバラバラで昼食のバーベキューや焼きソバ、おにぎりをみんなで食べました。本当にとってもおいしかったんです。そしてその後、市役所の中で「ふれあいコンサート」があって…それも楽しみの一つだったので、それを見てから…私と土井君は、メインストリームのアテンダントに頼んでたので…帰りは大丈夫だったけれど…、あの3人がウォークラリーの係の人に頼んで先に…はんしんまで送つて行き、そして私と土井君はあとから…アテンダントと一緒に帰りました。ああ～今年は、何だか精神的にも疲れたけれど…とっても楽しかったでした。来年は何処ですかまだわからないけれど…もしこの機会があれば、来年もそして…さ来年も参加しようと思っています。情報クラブのみなさんやボラ

ンティアのみなさん、ウォークラリーの時は大変お世話になりました。

どうか、来年もまた元気でみなさんに…逢えるのを楽しみにしています。

(はんしん自立の家・藤山富士美)

住 宅 情 報

住むところが見つからなくて、仕方なく施設に入っている多くの方へ、日本ではじめて、一般の地主さんによる、ハンデを持つ者を対象とした賃貸住宅が、市内光明町に来年春に完成します。

マンションの名前は『風の家』。3棟計24戸のうち1棟の1階部分3戸が対象となっています。広さは、55平方メートルの2DK、ドアは引き戸、玄関の段差はなし、同じ棟の中に身障用駐車場が2台分有り、雨にぬれず玄関まで行けます。そして嬉しいのは、キッチン設備が上下することと、現在の宝塚市立の建築物で見ることのできなかった身障用の災害時の避難路、警報装置を民間で設置していることです。老人、障害者等最初に犠牲となるものを守るために、公共施設が備えなければならない当たり前のことと、利益が優先する一般の地主さんが市役所に先んじて設置しているのです。

まるで市役所は、何をしているんだと言っているんですね。

家賃は、下記の通りです。

1ヶ月… 110,000 円

管理費… 5,000 円

駐車場代… 15,000 円

合 計… 130,000 円

申し込みは、大旺商事(☎078-821-1143、担当まじま氏)まで。

―― ござりますか？ 税の減免制度 ――

★所得税………西宮税務署 TEL0798-34-3930

内 容		金 額
障害者控除	本人又は配偶者、扶養親族が3～6級の身体障害者又は中・軽度の精神薄弱者の場合	所得控除 27万円
特別障害者控除	上記の障害者が1・2級の身体障害者または重度の精神薄弱者の場合	所得控除 35万円
同居特別障害者 扶養控除	控除対象配偶者又は扶養親族が同居の特別障害者である場合	扶養・配偶者控除額に30万円加算

★住民税………市民税課

障害者控除	本人又は配偶者、扶養親族が3～6級の身体障害者又は中・軽度の精神薄弱者の場合	所得控除 26万円
特別障害者控除	上記の障害者が1・2級の身体障害者または重度の精神薄弱者の場合	所得控除 28万円
同居特別障害者 扶養控除	控除対象配偶者又は扶養親族が同居の特別障害者である場合	扶養・配偶者控除額に21万円加算
前年中合計所得が125万円以下の障害者		非 課 稅

★事業税………西宮財務事務署 TEL0798-23-7788

重度の視覚障害者（失明または両眼の視力0.06以下の者）が行う、あんま、はり、きゅう等医業に関する事業	非 課 稅
---	-------

★相続税………西宮税務署 TEL0798-34-3930

身体障害者又は精神薄弱者が相続又は遺贈により財産を取得した場合 ①障害者 (70歳-年齢) × 6万円 ②特別障害者 (70歳-年齢) × 12万円	70才まで1年につき6万円（特別障害者の場合は12万円）控除
--	--------------------------------

★贈与税………西宮税務署 TEL0798-34-3930

特別障害者のために 6,000万円以内の金銭や有価証券などを信託会社等に信託した場合	非課税
--	-----

★自動車税・自動車取得税………西宮財務事務署 TEL0798-23-7788

区分	障害の級別	
視覚	1～4級	
聴覚	2～4級	
平衡機能	3・5級	
音声機能障害	3級(喉頭摘出による音声機能障害がある場合に限る。)	
上肢	1～6級 4～6級については本人所有で、かつ本人運転に限る。 ただし、同一生計を営んでいる者の所有でもよい。	全額免除
下肢	1～6級	1台に限る
体幹	1～3、5級	事業用自動車は除かれる。
脳病変 (上肢機能)	1～6級 4～6級については本人所有で、かつ本人運転に限る。 ただし、同一生計を営んでいる者の所有でもよい。	
脳病変 (移動機能)	1～6級	
内部	1・3・4級	
精神薄弱者・児	療育手帳A、B1	

※ 上記の方又は上記の方と生計を一にする方が取得し、又は所有する自動車で、自分で運転する又は生計を一にする方が上記の方の利用のために運転する自動車

構造上身体障害者等の利用に供するためのものと認められる自動車 (自家用・営業車)	減免
---	----

★軽自動車税………市民税課

自動車税と同じ。ただし、同一の生計を営んでいるものの範囲が、一部相違します。自動車税の減免を受けている人は、軽自動車税の減免は受けられません。

★医療費控除

ストマケアに係る治療を受けている人工肛門のストマ又は尿路変更のストマをもつ方の使用しているストマ用装具の費用が医療費控除の対象となります。

★マル優制度

障害基礎年金・障害児福祉手当・特別障害者手当受給者（所得制限者を除く）、身障手帳・療育手帳所持者は、額面300万円まで、利子が非課税となります。

阪急電鉄との意見交換会

9月17日、豊中市の「やさしいまちづくり連絡会」（代表 三上 洋氏）のお誘いで、同会主催の「阪急電鉄との意見交換会」に障害者情報クラブから代表の井上が参加した。私鉄の中では全国的にみても障害者に対する施設面の充実ぶりが目立つ阪急電鉄だが、最近京阪電鉄とならんで駅員の差別的な言動や乗車拒否、対応の悪さなどが囁かれているのも事実だ。

最近、宝塚市内の駅で起こった乗車拒否は報告されているだけでも仁川駅と小林駅で1件、逆瀬川駅で3件ある。信じられない話だが、下車拒否という事件も中山駅で起こっている。さらに、逆瀬川駅や宝塚駅、中山駅の駅員の差別的な言動もあると思えば、一方で中山駅のインターホームがシャッターから1メートルほど奥にあることも有名な話だ。

障害者が一人で現れた時は強気の駅員も、5~10人で乗車すると妙に優しく、対応がテキバキしているのも納得のいかない話だ。

代表の井上は、これらの事例を挙げて対応の改善を迫ったが、阪急側の対応はのらりく

らり。他の参加者からはあまり意見が出ず終始和やかな集まりだった。後日、関係者から聞いたところでは、「今回は第1回だったから」だそうだが、果たして2回目以後はどうなるのか。私達の悔しい思いが伝わらなければ駅も電車も変わらない。

（かば）



身体に、ハンディキャップを持つ人も持たない人も、みんな一緒に友情を深め合いながら、ともに生きる社会について語り合いませんか？ 障害者情報クラブでは下記の会員募集を行っています。

★正会員 2,500円（年会費）

★賛助会員 2,000円（一口）

いずれも事務局に連絡の上、銀行振込又は郵便振替で会費をお振込み下さい。

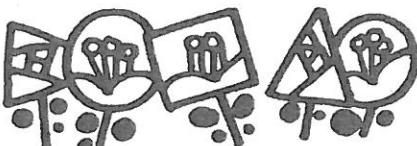
福祉の街づくり条例

この秋、兵庫県、大阪府で相次いで「福祉の街づくり条例」が日々の議会を通してきました。宝塚市の「福祉都市施設整備要綱」(以下、要綱と略す)が強制力がないことで同要綱の条例化を求めていた私たちとすれば、県レベルでの条例の制定は一定の評価ができるものです。

しかし、細部を検討してみると、対象となる建築物の規模が要綱に較べると2~3倍の大きさのものになっており、宝塚市のような中規模都市にある建築物の多くがその対象から外れることになるので、手放しでは喜べないものです。それに、期待していた公共交通車両と住宅については、「努力義務」名のもとに事実上対象からはずされています。

結局のところ、おそらく県条例を盾に要綱を背抜きにしてくるだろう市役所に対して、私たちは相変わらずに宝塚市の要綱が守られているかどうか監視していくなくてはならないということです。そして、その一方で要綱の条例化と、「福祉の街づくり条例」の対象建築物の面積要件などを厳しくすることによる効果的な運用を目指していく必要があります。そして、公共交通車両と住宅を対象とさせていかなければなりません。

(かば)



近畿ろうあ者大会に行ってきました

去る11月18日、ろうあ協会の近畿大会がたくさんの人々の参加のもと宝塚市民会館で盛大に開かれました。

今までいろんな講演会や大会に参加しましたが、ろうあ協会の関係は初めてで、今までにない経験ができました。

まず、入口にはいるとあちこちで手が動いています。声(?)を掛けられるのも手話です。司会はろうあ協会の人で、影から通訳者の声が聞こえます。映画界の人との対談、各市の活動報告、みんな真剣に取り組んでいます。そして、「ゆびっこあしづこ」のジャズダンス。音楽が聞こえないと思わせないほどのダンスを見せてもらい感激(知っている人がいるから余計かも・・・)。最後にみんなの拍手。手を大きく高く振っている姿に精一杯頑張っているのが見えます。

少しの時間でも耳の不自由な人の中に入った時の心細さ。立場が変われば、と思うとかずしんと重いものを感じます。いろんなことにも言えると思いますが、まず相手の立場に立って考える大切さを知らされたように思います。

(たっちゃん)

ひとくちニュース

●私たちが取材、編集した『宝塚市車いすガイドブック・マイロード&フリーウエイ』が「全国アクセスガイドリスト」(全国社会福祉協議会編)に掲載されました。

* * * *

●わが街でも、車いすウォークラリーをやってみようということで、竹野町役場の方4人が11月3日のウォークラリーを取材に来た。

「全く同じことはできないが、街中にうじゃうじゃ障害者が出てくるような企画をしたい」とのこと。豊中市の「豊中元気ネットワーク」でもウォークラリーをやりたいと連絡があった。いろんな形の街へ出る企画が広がっていって欲しいものだ。

フォーラム in 宝塚

国連障害者の10年（1981年の国際障害者年の理念を具現化するために国連が定めた1983年から1992年の10年）の締めくくりに向けて宝塚では1991年の4月から様々な取り組みがされてきました。その口火を切ったのが、私達が企画し、宝塚市の委託を受けて1991年4月から1992年5月にかけて取材、編集を行った「宝塚市車いすガイドブック・マイロード&フリーウェイ（注1）」の制作でした。その後、最終年の記念行事を行うために「国連障害者の10年宝塚フォーラム実行委員会」が宝塚市福祉推進課、宝塚市社協を中心に組織され、障害者情報クラブもそこに加わりました。10月には実行委行事として3回連続のセミナーが行われ、浅野史郎氏（厚生省前障害福祉課長）や谷口明広氏（障害者自立生活問題研究所所長）がこられました。11月3日には、参加行事として障害者情報クラブと宝塚市肢体障害者協会が主催した「第3回車いすウォークラリー」と宝塚市心身障害対策市民懇談会が主催した「第9回ふれあいコンサート」が行われました。

12月5日、一連の行事を締めくくる「フォーラム in 宝塚」が宝塚市立東公民館で開催されました。午前の部は、映画「愛は静けさの中に（原題：Children In Lesser God）」の上映。未だに日本では頑張る障害者がドラマ化されることが多い中、ろうあ者の女性を中心に戸籍や性の問題を見つめた秀作。

午後の部の前半は、「私が言いたいこと」と題して1人3分づつ10人に話していただく3分間スピーチ。障害者本人、親、取り巻く人々と立場は様々でしたが、いずれの発表も3分という時間に押し込めるにはもったいないほどの素晴らしい内容でした。そして、普段あまり知り得ない他の障害者の生活や健常者の取り組みを知る上で非常に有用な30分であったことと思います。ところで、市内から満遍なく10人を選んだはずなのに、障害者情報クラブの関係者が半分を占めるというのも不思議な話でした。

午後の部の後半は、「“ふつう”って、“自立”

って何？」というテーマでの大熊由紀子さん（朝日新聞社論説委員／注2）と牧口一二さん（グラフィック・デザイナー／注3）のビッグ対談。まず、大熊さんが世界中を飛び回って撮られてきたスライドを上映され、その後、3分間スピーチやスライドの内容をもとに牧口さんが加わって対談が始まりました。意外にも初顔合わせのお二人でしたが、牧口さんの軽妙な進行で消化不良を起こしそうなくらいの盛だくさんの内容が話されました。

「ノーマライゼイションを実践するためにリハビリテーションをしなければならないのは社会の方」、以前から機関誌に書きたかったけど書けなかった言葉を牧口さんは事もなげにあっさりと言ってくれました。栃木県社協の例を取り上げて大熊さんは「當時介助の必要な障害者を雇うこと、初めて障害者にどのような介助が必要なのかが分かる」と言われました。対談の直前に市役所から受けた「24時間介助の必要な人の福祉はどうにすればよいか」という質問に「市役所で雇えば分かる」と答えて怪訝な顔をされた私としては力付けられる発言でした。牧口さんが言われた「日本では優しい心があってそれが習慣になってはいない。欧米では地域や学校に障害者がいて、子供の頃から接しているのすぐに行動にあらわれる」という言葉は、隔離選別排他能率主義教育を強力に推し進めようとする市教委（残念ながら当日は誰もきていない）に対して警鐘となるでしょう。

この対談をもって一連の最終年行事は終了しましたが、ここで提起された「すぐにできること」については本当にすぐ行政に実行してもらわなければならないですし、実行するように私達が常に目を光らせていなければなりません。

（当日の司会）

1) 「マイロード&フリーウェイ」という言葉は障害者情報クラブのキャラクチャーフレーズです。したがって著作権を主張しません。ガイドブックのタイトルとしては市に無償で貸与しているだけですので、無断での使用は固く禁じます。両刀使い。核問題にも精通。著書に「『寝たきり』のいる国はない」、「ほんと記者で、社会を守りたい老入人のことがある。夫の大熊一夫氏で有名。」「ルボ精神病棟」など精神障害者運動の旗手。著書は「雨あがりのキンヤンママたち」、「こんな大人になっちゃった」、「タタヤマ空のオニヤンマ」など多数。注意しておきながら、決してトンボの研究家ではない。

公ちゃん、頑張れ！

神足公輔（かみあしこうすけ）君は、今年の春、宝塚市立長尾小学校へ入学し、ピッカピカの1年生になります。お母さんは、もうご存じの方もあると思いますが、昨年の暮れから情報クラブの会員になられた神足美恵子（かみあしみえこ）さんです。

公ちゃんは、生後10日目に髄膜炎と併発した脳梗塞により脳性麻痺になりましたが、リハビリを受けて10~20歩程度なら自力で歩けるようになりました。でも、階段の上り下りや靴や衣服の着脱、長時間の座位姿勢、手足を使う学習など自力だけでは難しい面も、まだまだたくさんあります。

現在、元気に通っている平井保育所では、保母さんや父母の会の皆さんに温かく見守られ、その上に障害児加配の先生もおられたおかげで、地域のお友達と3年間を楽しく過ごすことができました。しかし、この度入学する長尾小学校には、障害児学級に1名の担任の先生しかおられません。先生が他の用事に気を取られたり、お休みをされたとき、公ちゃんが階段を上り下りしたり、トイレへいったりするときにどうするのか、お母さんは心配な毎日を過ごしておられます。

周りの人の中には、そんなに心配なら、養護学校にいかせてあげたらいいのに……、といってくる人もいますが、公ちゃんは、保育所のお友達と一緒に、地元の学校へ通いたい様子です。障害者は養護学校へ行くべきだという人達は、何を根拠にそんなことをいうのでしょうか。障害をもつていなければ窓ガラスを割っても、トイレで煙草を吸っていても、授業中に先生の話を聞いていなくとも、体育館の裏で同級生や下級生をいじめたりしても、ちゃんとみんなと同じ学校へいく権利は守られているのに、ただ身体のどこかが不自由というだけで、養護学校へ押しやってしまうという無責任さに私は憤りを感じます。

公ちゃんの一生に対して誰が責任をとってくれるのでしょうか。

公ちゃんには、地域の中で暮らしていくこ

とが何よりも大切なことなのです。みんなと一緒に地域の小学校を卒業し、中学校、高校へと進みながら、その中で育まれていく友情や愛情に支えられて逞しく育っていって欲しいと思います。

平井保育所では沢山のお友達もでき、小さい手でよく手助けをしてくれます。しかし、子供たちの介助だけではとても危険です。そのところで、お母さんも大変不安を感じておられ、先日市の教育委員会へお願いにいってきました。長尾小学校へ障害児加配の先生かまたは介助員などの援助をしていただけないかと要望したのですが、宝塚市ではのような援助はしないと言われました。また、市民からお預かりしている税金をそんなことに使えないとも言われました。

公ちゃんのお母さんも私達も、教育委員会を相手にケンカをする気などもうとうありません。一人の母が自分の息子を、みんなと同じ学校へいかせてやりたくて、その方法を相談にいっているだけだと思うのですが、そういうとも変に身構えてしまい、ぎくしゃくとした話し合いになってしまいました。

教育委員会の皆さんもお仕事本当に大変だと思いますが、あなた方が希望して就かれた職務なのですから市民からの要望には誠意をもって応える義務があるのではないかでしょうか。

長尾小学校に入学を認めていながら、母親の不安を少なくするくらいの姿勢がとれない市の行政には不信感をもってしまいます。

ともあれ、今後は公ちゃんが周りにいる人達に温かく見守られ

ながら、楽しい学校生活がおくれるようになることを祈りながら、公ちゃん、頑張れ！とエールを贈らずにはいられません。

(藤原)



一九九三年一月二十一日発行
 (毎日発行)
 関西K
 障害者P
 定期卷刊二行二物四協三会号
 一大阪八市四城年東八区月東二中浜二第三種○便認三可

情報クラブの友好団体である兵庫県身体障害者水泳連盟の機関紙「兵障水連ニュース」に耳よりな話が掲載されていましたので、本紙にも掲載いたします。

神奈川県厚木市が「全国車椅子宿泊ガイド」のキャブテンサービスを始めたそうです。車椅子利用者が安心して利用できる宿泊施設、旅館、ホテル、国民宿舎、保養所など計527軒の所在地、料金、障害者専用室の種類と部屋数などをインプットしているとのことです。キャブテンシステムは電話回線を使って家庭のテレビ画面等に情報を送るシステムで、その設備を取りつけないと駄目ですが、障害者にとっては嬉しいサービスです。因みにアクセス番号は166-47155です。

お問い合わせは厚木総合情報センター(☎0462-22-1231)まで。

★感想等をお寄せ頂いた方々

(ありがとうございます！)

・西岡 潤(宝塚市)・中西 智子(西宮市)

★新たに機関紙や情報の交換をして頂けると勝手に思わせてもらっている団体

- ・障害児を普通学校へ全国連絡会(八王子市)
- ・障害者自立生活問題研究所(京都市)・えーぜっとの会(豊中市)・重度障害者の生活を明るくする会・四日市車椅子の会

福祉のまちづくり

10か条標語

を募集中!

県とひょうご福祉のまちづくり推進協議会が、すべての人々が等しく社会参加の機会を持つことができる社会をめざして、「福祉のまちづくり10か条標語」を募集しています。

応募方法などについて詳しくは、同協議会事務局へお問い合わせください。

電話 078-341-7711

2,

編集後記

遅くなりましたが、新年明けましておめでとうございます。今年も、情報クラブを宜しくお願い申し上げます。

余りポピュラーではなかったのですが、少し前に国際識字年というのがありました。日本では識字率100%だと言われていますが果たしてどうでしょうか。私の知っている被差別部落の人の中には字が読めない人が何人かいます。聴覚障害の人の中には間違った読み方で漢字を覚えている人が何人かいます。

被差別者は教育の場に於て、あるいは教育の場から排除されることによって、より差別を助長されているのです。

そこで今回新しい試みとして、漢字にルビをふったページをつくってみました。これは中部障害者解放センター(大阪市)の機関誌からアイデアをいただきました。より多くの方にこのニュースを読んでいただきたいものです。

『K S K P 障害者情報クラブニュース No.4』

編集者：障害者情報クラブ広報部

編集責任者：障害者情報クラブ代表 井上 聖

本部・事務局：665 兵庫県宝塚市中筋8-19-7 坂上正司方

☎ 0797-88-4329(昼) ☎ 89-8229(夜) FAX 88-0779(自動)

銀行振込口座：さくら銀行逆瀬川支店 普通 3566211

ショウガイシャショウガウカブ イハエ キヨシ

障害者情報クラブ 井上 聖

郵便振替口座：神戸 2-45964 障害者情報クラブ